

はなみやま しゅうまんこやま
コース3 花見山と十万劫山

リーダー CL N/S SLE/S
 実施日 平成31年4月15日(月)
 天候 晴れ グレード B
 参加者 16人(男性 3 女性13)
 コースポイント



ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		5:25	新津駅西口經由磐越道、東北道
花見山駐車場	8:25	8:40	点呼後出発。ボランティアガイド付き
花見山公園入口	8:55	9:05	花情報では11種類の花木が満開
花見山山頂 180m	9:45	9:45	更に上の十万劫山へ登る。開墾者と出会う
花見山分岐	10:25	10:30	滑りやすい登山道。雑木林の尾根
十万劫山山頂 429m	11:15	12:00	風神雷神の山頂で早昼食と記念撮影
花見山山頂 180m	13:07	13:10	ここから自由行動。地域全体が花木畑
花見山駐車場		14:50	全員笑顔で集合。大型観光バスで満車
秋葉区役所前	17:45		新津駅西口で解散

山行等概要(幹事のコメント)

- ・ 一昨年のリベンジ山行。寒冷前線で日本海側が生憎の天候だが、福島は晴れのエリアで実施に踏み切る。
- ・ 開園60周年の花見山公園はボランティアガイド2人による花の説明を聞きながら登る。朝一番のお陰でNHCの独占状態で花を巡りながら登る。また福島市街と雪に映えて目立つ吾妻小富士が一望でき、いつのまにか180mの高地まで登れて楽ちんであった。



十万劫山山頂 429mにて

- ・ 十万劫山までの登山道はこれまでとは違い雑木林の尾根沿いを歩き、山頂にたどり着いた。
- ・ 花見山満開の花々はサンシュウユ、彼岸桜、レンギョウ、寒緋桜、染井吉野、十月桜、矢口桃、安行桜、白木蓮、ボケ、雅桜の百花繚乱の情報を得たが私には判別できず、ただ原風景は心なませてくれた一日でした。桃源郷にした開墾者に敬服。また対丘に黄色が目立つ菜の花の巨大なハートマークが好評でしが好評でした。

帰路は隣町の二本松から雨。磐梯SAでは5℃雨と寒い。花見山は天候に恵まれたラッキーな一日でした。参加していただいた皆様ありがとうございました。感謝！感謝！です。

「花見山と十万劫」の山行に参加して

1608 T/T

雨と曇空の出発でしたが福島は晴れの予報、リーダーより「福島は晴れです」の声掛け通り現地に近づくとつれ青空になり、高速からは雪を頂いた吾妻連峰が見え歓声上がる。

福島盆地の東縁、福島駅より南東に位置する花見山公園、通勤ラッシュ時間帯であったが予定より早く観光バス専用駐車場に着く。観光案内所には外国人向けパンフレットも多数置いてある。観光客も少ないなか、整備された鈴ヶ入川沿いに地区内遊歩道進むとレンギョや菜の花が咲き乱れ、斜面には花桃、山桜、ハクモクレンが青空にマッチして最高のロケーションに歓声、撮影タイムになる。今回ボランティアガイドふくしま花案内人 2 名より、花卉園芸農家阿部一郎氏私有地を公園として無料開放している説明を聞き、花見山公園山頂展望場に向けハイキングコースを登り始める。3 月に降った雪で桜の枝が多数折れている中、ソメイヨシノ、十月桜、おかめ桜、ヒガンザクラ、カンヒザクラ、花桃、レンギョウ、ヒュウガミズキ等…満開、目を楽しませてくれる。途中より隣接農家が植えたハート型の菜の花や畑や、山頂手前展望から見える吾妻小富士を写真に撮る。山頂展望場を後に南に少し下った所に十万劫山登山口があり、花の名前を詳しく教えてもらったガイドと別れる。雑木林の登山道を少し登ると左側に十万劫山らしき頂が見えてくる。広い尾根の T 字路に出合い、この分岐を戻る様にゆるやかに東へ向かう。登山道わきには春蘭やマキノスミレが時々見られる。ぬかるみの登山道を登ると十万劫山山頂に着く。ここには風神、雷神をはじめ多くの神々がまつられている。広々とした山頂からは福島の街並みが一望できる。ここより周遊可能だが、今回は春爛漫の花見山に戻り、十万劫登山口から自由行動で駐車場集合になる。思い思いに花とふれあう時間が持て、皆様と楽しく過ごす事ができありがとうございました。





花見山周辺MAP

花見山周辺の花木畑

花見山公園とその周辺の美しい景観は、福島市渡利地区の花木生産農家の集落による色とりどりの花畑やきれいな小川、里の原風景で織りなされています。
その美しさから、写真家の故・秋山庄太郎氏が「福島に桃源郷あり」と称えて全国で紹介し、福島市が全国に誇る花の名所として知られるようになりました。



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
ジュウガツザクラ													
ロウバイ													
ウメ・ロトウ梅													
ヒュウガミズキ													
トウカイザクラ													
ヒガンザクラ													
オカメザクラ													
カンヒザクラ													
ソメイヨシノ													
アマノガフ													
ハナモモ													
ヤエザクラ													
ウコンザクラ													
チューリップ													
リキュウバイ													
デショウジョウ													
サツキ													
ツツジ													
アジサイ													
ヤマユリ													
スイレン													
ケイトウ													

十月桜 (ジュウガツザクラ)

■バラ科サクラ属
秋から春にかけて白から淡紅色の花を咲かせます。八重咲きが特徴で香の強い花が多く花も大きいです。

蠟梅 (ロウバイ)

■ロウバイ科
別名：香梅(トウカイザクラ)
12月~2月ごろに、雪の中でも咲いている黄色い小さな花が咲きます。花びらには光沢があり、強い香りがします。

梅 (ウメ)

■バラ科
香の美しさを感ずり、いち早く咲き、美しい香りがします。

山菜菜 (サンシユウ)

■ミスズ科
別名：香黄堂花(ハルコガネバナ)、秋咲梅(アキサンゴ)
緑の花火のような花の形をしています。黄色い小さな花が咲きます。

日向水木 (ヒュウガミズキ)

■マンサク科トリスミズキ属
3~4月、1~3個の淡い黄色の花を穂のように咲かせます。花屋さんではヒメミスキとも呼ばれます。

東海桜 (トウカイザクラ)

■バラ科サクラ属
サクラの優良品種で、淡紅色の5弁花をつけ、花弁の基部が赤く染まります。小さな桜にも元山の花をつけます。

彼岸桜 (ヒガンザクラ)

■バラ科
小さな花を2~3輪状につけ、別名「トヒガンザクラ」ともいいます。この地域では多く植えられています。

連翹 (レンギョウ)

■モクセイ科
枝が直立しており、4枚の花びらを持つ黄色の花が咲きます。

木瓜 (ホケ)

■バラ科
日本に古くからあり、広く庭木として植えられていました。紅色や白色のあみを帯びた花をつけます。

白木蓮 (ハクモクレン)

■モクレン科
品のよい大きな白い花が咲きます。木蓮も同じ属に咲きます。

おかめ桜 (オカメザクラ)

■バラ科サクラ属
寒緋とマメ桜の雑種、イギリスで交配され、日本人の愛稱「OKAME」と命名され親しまれました。

寒緋桜 (カンヒザクラ)

■バラ科サクラ属
寒さに強く道沿地に分布。寒咲きでガクごと落下します。

染井吉野 (ソメイヨシノ)

■バラ科サクラ属
開花直前や咲き終りでいう桜はソメイヨシノのことです。晩春紅色の花をつけ、日本の春を代表する桜です。

天の川 (アマノガフ)

■バラ科サクラ属
幹は樹皮に直立、大輪八重咲きで芳香、上向きに咲きます。枝が曲がるように伸びる様子から天の川に見立てられました。

花桃 (ハナモモ)

■バラ科
サクラ属モモ亜属
桃の優良品種で、花が美しいものの華やかといえます。その中でも大輪は、八重咲きの太輪で美しい華やかな花を咲かせます。

八重桜 (ヤエザクラ)

■バラ科
桜が咲いてから、まもなく八重桜が咲きます。色は淡紅色・白色・淡黄色などがあります。

鬱金香 (ウコンザクラ)

■バラ科サクラ属
オオシマザクラ系の園芸種で、4~5月に淡紫緑色の八重咲きの花を咲かせる珍しい品種です。

利休梅 (リキュウバイ)

■バラ科ヤナギザクラ属
明治末期に本園から渡来しました。4~5月、枝先に2~5cmほどの白い花を5~10輪咲かせます。

出狸々 (デショウジョウ)

■カエデ科カエデ属
春の新芽は真っ赤で「春もみじ」とも呼ばれる園芸種で、夏は緑に変わり、秋には赤い紅葉します。

早月 (サツキ)

■ツツジ科ツツジ属
庭木としても広く親しまれ、各地園地は花の色も多種多様。八重咲きのものもあります。

ふくしま花観光ガイドマップより抜粋